

平成27年度 21世紀土地改良区創造運動 北海道大賞

受賞地区の概要

～新たな水土里ネットの創造～

○道民・国民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織

○道民・国民の要請に対応した農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織を目指して



平成27年8月24日

水土里ネット北海道
北海道土地改良事業団体連合会

はじめに

21世紀土地改良区創造運動（以下「21創造運動」）は平成13年度から始まり、14年度には土地改良区の愛称「水土里ネット」が決定し、以降、この愛称の普及を含め土地改良区の役割の一層の発揮等に向けた多様な運動が全国的に展開されております。

また、平成15年度には、全国水土里ネットにおいて、全国の模範となる優れた運動や示唆に富む運動を展開している水土里ネットを表彰する「21創造運動大賞」が創設されました。

このような中で、本会は、21創造運動を一層推進する支援体制の強化を図るため、「21創造運動表彰選考委員会」を設け、平成16年度から「21創造運動北海道大賞」を選考しております。

21創造運動は、水土里ネットの役割・機能を再認識するなど自己確認、自己変革に取り組む（内部運動）とともに、農業・農村の多面的機能や農地・農業用水等の資源保全の重要性と水土里ネットの果たす役割などについて広く理解の醸成を図る（外部運動）ものであります。今後とも水土里ネットが、道民・国民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、また、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織として発展するためには、これからも着実に継続して21創造運動に取り組んでいかなければなりません。

本会といたしましては、この表彰を通じ、関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげ、さらなる運動の推進と新たな展開が図られるよう支援して参りたいと考えております。

I 21創造運動北海道表彰について

1. 21創造運動表彰の趣旨

「水」「土」「里」は食料の安定供給や農業・農村の多面的機能の発揮の基盤となる社会共通資本。道民・国民の財産であるこの「水」「土」「里」を良好な状態で次世代へ継承するため、水土里ネットでは、農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織を目指して、21創造運動を積極的に展開している。

このような中で、模範となる運動を展開している水土里ネットの表彰を通じ、活動に取り組む関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげることにより、水土里ネット関係者の運動への取り組み意欲の高揚と意識改革を図るとともに、運動のさらなる発展と新たな展開に資する。

2. 21創造運動表彰の選考経過等

(1) 選考対象

21創造運動に積極的に取り組み、北海道の模範となる運動を行うか、又は、他の運動に対して示唆を与えうる運動を行っている水土里ネット。

(2) 選考方法

本会「21創造運動表彰選考委員会」が、道内73水土里ネットの取組状況を精査し、北海道大賞を選定する。

(3) 「21創造運動表彰選考委員会」委員

委員長	梅田安治	農村空間研究所長、北海道大学名誉教授
副委員長	浜田哲	美瑛町長
委員	長澤徹明	北海道大学名誉教授
〃	森久美子	作家、エッセイスト
〃	小田たず子	特定非営利活動法人農業応援団あぐり・びれっじ理事

委員	野城正功	農政ジャーナリスト
//	黒崎宏	北海道開発局農業水産部調整官
//	山田恵二	北海道農政部農村振興局長

(4) 選考基準

水土里ネットが取り組む21創造運動での愛称の普及、都市と農村との交流、地域住民等と連携した地域づくり、総合学習など学校教育との連携、先駆的な農業・農村振興、環境・景観保全、多様な広報などの推進において、その運動の取組体制、意味性、継続性・発展性で優れた活動が行われ、地域住民の理解促進や地域振興に貢献するなど運動の成果が認められること。

1) 運動の取組体制

- ① 役職員だけでなく、総代や組合員に運動への理解が浸透している。
- ② 運動を担う人材の育成に取り組んでいる。

2) 運動の意味性

- ① 基本理念や目標を立てて取り組んでいる。
- ② 水土里ネットの特徴や地域資源等を生かした運動となっている。
- ③ それぞれの運動が総花的でなく、上記①に沿って位置づけられている、または相互に関連性をもって位置づけられている。

3) 運動の継続性・発展性

- ① 身の丈にあった、無理のない運動となっている。
- ② 取り組みの浸透や継続、広がりを促すための工夫を行っている。
- ③ 水利施設の役割及びその重要性並びに水土里ネットの仕事を理解してもらう内容が盛り込まれた運動となっている。

4) 運動の成果

- ① 組合員等の組織運営への参画・活性化への貢献（組織活性化）
- ② 地域農業の振興への貢献（地域農業）
- ③ 地域コミュニティの再生強化（地域コミュニティ）
- ④ 施設管理や地域資源の保全強化（地域資源管理）

(5) 選考経過

○表彰選考委員会

期 日 平成27年7月31日

選考内容

- ・ 21創造運動北海道表彰の実施方針と選考基準等について審議。
- ・ 道内73水土里ネットの創造運動の活動内容について、①愛称普及②都市と農村の交流③関係団体・地域住民との連携④学校教育との連携⑤先駆的な農業・農村振興活動⑥環境・景観保全活動⑦多様な広報等⑧運動の成果一の8項目に分類し、それぞれの項目で各水土里ネットがどのような活動を行い、どのような成果が上がっているのかを整理。

【北海道大賞の選考】

上記を踏まえて、これまで全国大賞、北海道大賞を受賞した以外の水土里ネットの中から、選考基準をもとに特に優れた活動を展開している3水土里ネットを北海道大賞に選定。

Ⅱ 21 創造運動北海道大賞地区の概要

1. 水土里ネットいしかり（石狩土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

- ① 地区面積：1,438ha
- ② 組合員数：212戸
- ③ 関係市町村：石狩市、当別町
- ④ 役員数：役員12名、職員7名

（2）21 創造運動の主な取組

関係団体・地域住民等との連携活動

◇ハザードマップ作成のためのワークショップの開催

北海道、石狩市等と連携し、ダム、貯水池を対象としたハザードマップ作成に向け、施設周辺住民の参加によるワークショップを開催し、避難経路や避難場所等についての検討を行うとともに、防災管理体制の強化を図っている。



学校教育との連携

◇小学校の体験学習に効力

浜益柏木地区資源保全組合の協力を得て、地域の小学生を対象に、田植え、稲刈り、農作物収穫、生き物調査など、様々な体験学習を実施している。



先駆的な農業・農村振興活動

◇多面的機能支払交付金の積極的な推進

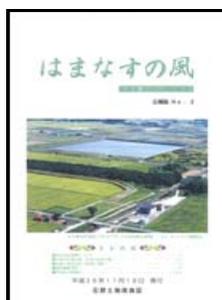
地区内の活動組織と緊密な連携を図り、より質の高い活動を行うための支援を行っているほか、地域住民等の参加を得た活動の推進に向けて、積極的な支援を行っている。



多様な広報

◇パンフレットや小冊子等の作成配付

農業用水や水土里ネットの役割などを紹介したパンフレット等を作成し、イベント等で広く配付しているほか、石狩市役所においてパネル展示を行い、農業水利施設や水土里ネットの役割をPRしている。



（3）21 創造運動の概要と受賞ポイント

- 関係団体等と連携し、ダム等を対象としたハザードマップ作成に向けワークショップを開催し、防災管理体制の強化を図っている。
- 小学校の体験学習を通じて、水土里ネット、農業用水、農業・農村の多面的機能などの役割や重要性について積極的にPRしている。
- 広報誌の発行やパネル展示などにより、農業水利施設の多面的機能や水土里ネットを広くPRしている。

2. 水土里ネット恵庭（恵庭土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

- ①地区面積：3,424ha
- ②組合員数：304戸
- ③関係市町村：恵庭市、北広島市、千歳市
- ④役職員等数：総代34名、役員9名、職員15名

（2）21創造運動の主な取組

関係団体・地域住民等との連携活動

◇農業用水の防火用水としての活用推進

農業用水の防火用水機能増進を図るため、地区内の用排水路等の位置図を消防署に提供している。



先駆的な農業・農村振興活動

◇多面的機能支払交付金の積極的な推進

地区内の6つの活動組織と緊密な連携を図り、活動計画などについて助言・指導を行っている。

景観・環境保全活動

◇地域住民等と連携した植栽活動等の実施

（恵庭の水と花がいっぱい運動の推進）

恵庭市、ボランティア団体、市内業者等と連携し、土地改良区OBが中心となり、用水路敷地等を活用した植栽活動及び景観保全活動を実施している。



多様な広報

◇パンフレットや小冊子等の作成配付

土地改良区だよりの発行や農業水利施設のPR用パンフレット等を作成し、ホームページに掲載することにより、恵庭市の農業の歴史や水利施設のPRを行っている。



（3）21創造運動の概要と受賞ポイント

- 多面的機能支払交付金の活動組織と連携し、より効果の高い活動を行うための支援・協力を行っている。
- 地域住民等と連携し、景観保全活動を積極的に推進している。
- 広報誌の発行やパンフレットの配布などにより、農業水利施設の役割や水土里ネットを広くPRしている。

3. 水土里ネット浦臼（浦臼土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

- ①地区面積：2,164ha
- ②組合員数：175戸
- ③関係市町村：浦臼町
- ④役職員数：役員11名、職員7名

（2）21創造運動の主な取組

都市と農村の交流

◇地域イベントへの参加

町が主催する「うらうす夏の味覚まつり」において水土里ネットコーナーを設置し、アンケート調査や啓発グッズの配布などにより農業用水の多面的機能や農業水利施設の役割等をPRしている。



関係団体・地域住民等との連携活動

◇関係団体と連携した施設見学会等の開催

浦臼町と連携し、高齢者大学の参加協力を得て、施設見学会や幹線用水路沿いの草刈りを実施し、地域住民との交流とともに農業水利施設の役割等について理解促進を図っている。



先駆的な農業・農村振興活動

◇多面的機能支払交付金の積極的な推進

地区内の4つ活動組織と密接な連携を図り、活動計画などについて助言・指導を行っているほか、活動組織の事務局を担い、活動計画の適正管理、地域住民等の参加を得た円滑な活動推進に向けて積極的な支援を行っている。



環境・景観保全活動

◇用水路敷地を活用した植栽活動の実施

多面的機能支払交付金の活動組織と連携し、地域住民の協力を得て、花の植栽など景観保全活動に積極的に取り組んでいる。



（3）21創造運動の概要と受賞ポイント

- イベントへの参加を通じて、水土里ネット、農業用水、農業・農村の多面的機能などの役割や重要性について積極的にPRしている。
- 関係団体と連携し、地域住民の一般参加を得て、農業水利施設見学会や草刈りを実施し、水土里ネットの役割や農業用水、農業水利施設の重要性などをPRしている。
- 多面的機能支払交付金の活動組織の事務局を担い、より効果の高い活動を行うための支援・協力を行っている。